

平成 23 年度第 1 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議議事要旨

1. 日時 平成 24 年 3 月 22 日(木) 10:30-12:00
2. 場所 国立情報学研究所 12 階会議室
3. 議事内容
 - ① 新委員の紹介
坂内本部長から、資料 1 に基づき、交替(高井昌彰委員、美濃導彦委員、佐伯元司委員、漆谷重雄委員)、新規(小池英樹委員)について、紹介があった。
 - ② SINET4 の整備状況等について(報告)
漆谷委員から、資料 3 に基づき、ノードの全県整備完了報告等について報告があった。
 - ③ 平成 24 年度学術情報ネットワークの整備計画について
坂内本部長から、平成 24 年度の予算状況について説明があった。また、参考資料 1 に基づき、来年度の国立情報学研究所の組織体制について説明があった。
 - ④ 今後の学術情報ネットワークに関する課題に関する検討について(審議)
安達委員から、資料 4 に基づき、次期ネットワークの検討状況について報告があり、今後は、震災後の情勢変化も加味しながら引き続き、企画作業部会で具体的な検討を行い、今秋頃を目途に本会議において方向性を議論することとなった。下條委員から、ネットワークとクラウドは一体なので、その基盤を NII が担っていることをもっとアピールした方がよい、との発言があった。これに関連して青柳委員から、大学 ICT 推進協議会の中でも、大学の BCP をクラウド基盤上で実現しようという議論が始まるとの補足説明があった。また、野崎委員から、2015 年から大型加速器が運用を開始し、世界中の計算センターをグリッドを介して接続、分散処理する計画のため、国際回線の将来計画も引き続き検討してほしい旨の発言があった。
 - ⑤ 企画作業部会報告
安達委員から、資料 5 に基づき、活動報告(オープンフォーラム開催、アクセス回線の共同調達、各ワーキンググループの活動状況)があった。今後は、オープンフォーラムを引き続き開催するとともに、先に述べた次期ネットワークの検討に、本作業部会としては注力していきたい旨の説明があった。また、坂内本部長から、アクセス回線の共同調達が、大学向けの価格を下げるのに有効だったとの補足説明があった。

⑥ ネットワーク作業部会報告

漆谷委員から、資料 6 に基づき、活動報告（SINET4 の新サービス概要、トラフィック情報のユーザへの提供方法）があった。今後は、新サービスのトライアルや次期ネットワークの技術的部分の検討を進めていく旨の説明があった。

⑦ 認証作業部会報告

岡部委員から、資料 7 に基づき、活動報告（UPKI オープンドメイン証明書自動発行プロジェクト実施状況、学術認証フェデレーション実施状況、eduroam 実施等）があった。また、今後はトラストフレームワークの構築に必要な各種評価を担当する学認トラストチームを立ち上げるとともに、学認の国際的な評価を得るための OIX 参加申請を行う旨の説明があった。

⑧ UPKI オープンドメイン証明書自動発行検証プロジェクト参加要領及び学術認証フェデレーション実施要領の改訂について(審議)

岡部委員から、資料 8 に基づき UPKI オープンドメイン証明書自動発行検証プロジェクト及び、学術認証フェデレーション実施要領の改訂について審議が行われ、原案どおり了承された。

改訂箇所については以下の二点

- ・第 4 条 第二号に、一般財団法人、一般社団法人を新たに追加する
- ・第 17 条のプロジェクト実施期間を平成 27 年 3 月 31 日まで延長する

⑨ 高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会報告

曾根委員から、資料 9 に基づき、活動報告（サンプル規程集の見直し、講習会、教材開発等）があった。今後は、引き続きこれらの活動を推進するとともに、大学のクラウド利用におけるセキュリティ上の問題点等、大学が直面している新たな検討課題について、サンプル規定集の改訂及び活用資料の整備を行なっていく旨が説明された。

⑩ その他

- ・後藤委員から資料 10 に基づき、TEIN の現況報告が行われた。
- ・事務局から資料 11 に基づき、2011 年度「クラウドサービスのための SINET 及び学認説明会」開催報告があった。
- ・坂内本部長から、平成 24 年度の運営・連携本部の体制について、NII にて見直しを行い、本部委員については次年度に入り、あらためて依頼する旨の発言があった。

以上